

履修について

授業科目の構成

教育課程による分類

総合教育センター科目

専門科目

履修条件による分類

必修科目 : 必ず履修しなければならない科目で、卒業するためにはその単位を必ず修得しなければなりません

選択必修科目 : 選択科目のうちで履修が指定された科目

選択科目 : 任意に選択し、履修できる科目

単位制度

大学の教育課程は単位制度に基づいています。卒業するためには、自分が所属する学科の卒業要件を満たすように単位を修得しなければいけません。1単位を修得するためには45時間の学修が必要です。この学修時間は、授業時間だけでなく授業以外での勉強時間なども含めたものとして、文部科学省により定められています。本学では、授業形態や授業内容を考慮して、授業時間については概ね以下のように定められています。

科 目		単 位 ・ 時 間
講 義 科 目		1単位 15時間
演 習 科 目	英語などの言語に関する科目	1単位 30時間
	それ以外の科目	1単位 15時間
実験・実習科目		1単位 30時間

本学では、1コマを2時間とみなして授業を実施しています。

例えば、半期開講の講義科目の場合、15回の授業があり単位数は2単位です。

単位の修得

単位を修得するためには、履修登録し、授業に出席して上記の学修時間を満たした上で、試験などに合格する必要があります。なお、**授業時間の2/3以上の出席がないと、最低限の学修時間を満たしていないとみなされ、単位は修得できません。**ただし、やむを得ない事情で2/3以上の出席がない場合、科目によっては、補講その他の手段により不足分の学修時間を補うこともあります。

履修登録

履修とは、各学科に定めている科目を習い修めることを言います。

自分の入学年度のカリキュラムに沿って、所属している学科の科目を受講し、必要な単位を修得することによって単位を積み重ね、卒業に必要な単位を満たします。

なお、大学における単位認定には、教室外における準備のための学修（自習）が義務づけられていますので、**本大学で1年間に履修登録できる単位数の上限は、48単位**です。ただし、成績優秀学生については特例として各学部細則に定められた単位数まで履修登録できます。

履修登録の手順

- ① 「学生便覧」、「履修要項」、「シラバス」、「時間割表」、「成績表（1年次後期以降）」等を参照し、受講可能な全ての科目の第1回目の授業に出席した上で履修科目を決定し、「履修登録票（OCR用紙）」に登録コード、科目名を記入してください（記入には、黒のボールペンを使用）。
- ② 受講科目の確認を再度行い、提出期間内に学生支援課前の**提出ボックスに投函**してください。
- ③ 「履修確認表」を交付します。確認期間内に受け取り、提出した履修登録票どおりに表示されているか確認してください。

訂正が無い場合

- ④ 捺印し、提出期間内に**提出ボックスに投函**してください。

訂正がある場合

- ⑤ 間違いがあった場合は、**赤字で修正**し、捺印、提出期間内に**提出ボックスに投函**してください。

修正方法は、窓口で確認してください。

この「履修確認表」の投函をもって、履修登録が完了となり、これ以降履修の変更はできません。

履修取消期間

履修を取りやめたい科目について、履修を削除することができます。

（追加や担当者の変更は、できません。）

学生支援課で申請書を受け取り、所定の手続きをおこない、期間内に窓口へ提出してください。

必修科目の履修取り消しはできません。

履修を取り消したことによって、不要になった購入済みのテキスト代等の返金はできません。

注意点

- 履修する科目は、在籍する学科、学年の各学期内に配当されている科目の中から選択します。上級年次に配当されている科目は履修することができません。

- 各科目とも、開講年次に履修し、単位をとるようにしてください。
特に必修科目は、学年間で時間割が重複するなどにより、履修できなくなることがあります。
- 履修登録期間中、履修確認期間中の授業も出席時間にカウントされます。
- 単位を修得した授業科目、既修得単位認定科目については、再び履修することはできません。
- 「シラバス」は
本大学ホームページ ⇒ 「在学生の方へ」のページから、リンクできます。
- 期間中の受付時間は、次のとおりです。
平日：午前8時30分～午後6時
土曜：午前8時30分～午後1時（第2・第4を除く）

授業について

授業時間

コマ	I		II		III		IV		V	
時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
時刻	9:00	9:45	10:40	11:25	13:00	13:45	14:40	15:25	16:20	17:05
	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩
	9:45	10:30	11:25	12:10	13:45	14:30	15:25	16:10	17:05	17:50

集中講義

長期休暇や土日を利用し、時間数分の講義を実施します。
日程等については、決まり次第、掲示板へ掲載します。

他学部他学科履修

所属する学科の他に、他学部他学科の授業科目を履修し、単位修得することができます。
他学科の専門科目を履修する場合は、学生支援課にある書類を記入し、科目担当者及びチューターの許可が必要です。履修登録の提出期間内に申し出てください。
総合教育センター科目は、他学部他学科の同学年及び上の学年の科目は、履修できません。下の学年の科目については、科目担当者の許可があれば履修できます（履修登録のみで可。書類不要）。

単位互換制度（他大学履修）

本大学は教育ネットワーク中国による単位互換制度に参加しています。この制度を利用し、科目を提供している他大学の講義を受講できます。毎年3月下旬に募集があるので各自で、「教育ネットワーク中国」のHPを確認、受講条件などを確認し、希望する場合は学生支援課で申し込みをしてください。

休 講

事前に授業担当教員から休講の連絡があった授業科目については、図書館前の掲示板および学内サイトへ掲載します。ただし、年間行事予定表で休講と記載されている場合は、学内サイトでの掲載はありません。

休講の掲示がなく、授業開始から30分経過しても授業担当教員が来室しないときには、学生支援課へ連絡し、指示を受けてください。

学内専用サイトは、

大学HP下段の「学内専用サイト」 → 「次に進む」 → アドレス・パスワード → 「休講情報一覧」

臨時休講

天候の悪化による臨時休講

広島県南部（広島・呉）に

- ① 暴風警報、大雨警報、洪水警報が同時に発令されている場合（警報が2つの場合は授業実施）
- ② 大雪警報あるいは暴風雪警報のいずれかが発令されている場合

次の時刻が基準で授業処置が適用されます。

①または②の条件の警報が発令されていて	授業処置
午前6時までに 解除された	授業実施
午前6時以降 午前10時までに 解除された	午前中の授業が休講、午後の授業は実施
午前10時を過ぎても 解除されない	午後の授業が休講

新たに警報が発令された場合は、「学長の判断による臨時休講」となる場合もあります。

学長の判断による臨時休講

公共交通機関、その他の非常事態が発生した場合、学長の判断に基づき臨時休講とする場合があります。

臨時休講の際は、大学HPの「大学からのお知らせ」へ掲載しますが、掲載時間が遅れることも想定されます。テレビやラジオ、インターネットなどの気象情報を確認してください。

補 講

休講や臨時休講などで行われなかった講義を、補うための講義です。補講日については、空きコマを利用して実施する場合と学期末の補講期間に実施する場合があります。

欠 席

単位を修得するためには、授業に出席しなければなりません。課外教育活動、就職試験もしくは忌引等でやむを得ず授業を欠席するときは、欠席届を授業担当教員に提出してください。欠席届の用紙は

- 就職・進学試験で欠席 : 就職課へ
それ以外で欠席 : 学生支援課へ

試験について

試験は授業科目に応じて、筆記、レポート、実技等によって行われます。
各教科の試験については、シラバスの成績評価基準を確認してください。

期末試験期間

各期の最終週後に期末試験期間があります。試験の時間割は、通常の授業時間割と異なります。試験時間割が確定次第、期末試験日程表を掲示板へ掲載します。

また、試験期間中1コマの時間は50分となります。よって開始時間も変わるので、注意してください。

コ マ	1	2	3	4	5	6
時 刻	9 : 00 ∩ 9 : 50	10 : 05 ∩ 10 : 55	11 : 10 ∩ 12 : 00	13 : 00 ∩ 13 : 50	14 : 05 ∩ 14 : 55	15 : 10 ∩ 16 : 00

受験資格

次の者は、期末試験の受験資格がありません。

- ① 当該学期の授業料を納入していない
- ② 当該学期、休学している
- ③ 履修登録をしていない科目
- ④ 2/3以上出席していない科目

試験当日の注意事項

①学生証を忘れない

忘れた場合は、試験開始前までに学生支援課で仮学生証（手数料 200 円）を交付しておく。
ただし交付は、各期 1 回のみ。2 回目からは学生証を再発行してもらう（手数料 1,000 円）。

②遅刻しない

入室は試験開始後、15分まで可能ですが、終了時間の延長はできません。

15分以上の遅刻は入室できない（受験できない）。

③カンニング等の「不正行為」をした場合、試験期間中のすべての受験科目が無効となり、それ以降の試験は受験できない

④試験監督者の指示従わない場合は、「不正行為」とみなすことがあります

⑤やむを得ない理由で欠席する場合、試験開始前までに学生支援課へ電話連絡をする。

「追試験」の事由に当てはまる場合は、早急に手続きをしてください。

ただし、試験開始後の欠席は、「追試験」の事由に当てはまっても、受け付けない。

追試験

期末試験を、次のようなやむを得ない事情で欠席し、追試験願を提出、担当教員等の承認が得られた後に実施される試験です。

次のいずれかに該当する事由で欠席した場合、欠席事由を証明する書類の添付が必要です。なお、試験を欠席する場合は、必ず、試験開始前までに学生支援課へ連絡してください。

事 由	証明書
a. 病 気	診断書、治癒通知など
b. 一親等（父母・子）、二親等（祖父母・兄弟姉妹）の死亡	事由証明書（会葬お礼はがき等）
c. 不慮の事故、災害等 d. その他、本学が特に認めた事由 e. 就職試験	証明となる書類など （不明の場合は、窓口で相談）

事由「a～d」については学生支援課、事由「e」については就職課へ証明書等とともに、欠席届を提出し、受付を済ませた後、追試験願に添付して学生支援課へ提出してください。

再試験

卒業を控えた年次に、修得できなかった科目について、特例として教授会の議を経て認められた場合一度に限り、再度行う試験のことで。受験に際しては、手続き及び手数料が必要です。

教授会で審議されるための前提条件として

- ・当該科目をその年度に履修登録し、授業へ2/3以上出席、期末試験を受験していること

成績について

評価の基準

評価（評語）	認	合	S	A	B	C	D	未	
評価点	-	-	100 ~90	89 ~80	79 ~70	69 ~60	59 ~ 0	未受講 試験欠席	
G P	-	-	4	3	2	1	0	0	
合否判定	認定	合格					不合格		

「認」は、編入学等で「本大学以外において修得した単位」を本大学の単位として認定した際の評価

GPA制度（グレード・ポイント・アベレージ評価の基準）

受講した科目の成績評価を総合した、GPA（Grade Point Average — 平均評価点）により測定します。

GPAの計算は、履修登録科目の単位数に、評価点（GP：Grade Point）を乗じ、その総和を履修登録科目の単位数の合計で除した数値で表します。

$$GPA = \frac{Sの単位数 \times 4 + Aの単位数 \times 3 + Bの単位数 \times 2 + Cの単位数 \times 1 + (Dの単位数 + 未の単位数) \times 0}{総履修登録単位数 (A \cdot B \cdot C \cdot D \cdot 未の単位数の合計)}$$

GPAの対象にならない科目（総履修登録単位数に含まれない科目）

- ・ 評価が「合」、「認」の科目
- ・ 教職科目など卒業に必要な単位数に含まれない科目

不合格になった科目は・・・

不合格となり、単位修得できなかった科目は、次年度以降、再び履修することができます。このことを「再履修」と言います。

不合格の科目が必修科目の場合は、単位修得しないと卒業することができません。次年度、必ず再履修してください。選択科目の場合は、他の選択科目を修得し、卒業要件を満たすことができれば、問題ありません。しかしながら、そのまま「D」または「未」の評価を残しておく、総履修登録単位数、GP「0」で残るので、GPAを下げてしまいます。

成績の通知

成績表を、9月と3月にガイダンスの案内と一緒に送付します。
学生へは、そのガイダンスの時に、成績表を手渡します。

科目一覧表

総合教育センター科目 (全学科共通)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開講時期	単位数				
				必修	選択	自由		
高城科目	基礎教育科目	初年次セミナーⅠ	1	前期	2			
		初年次セミナーⅡ	1	後期	2			
		コミュニケーションⅠ	1	前期	2			
		コミュニケーションⅡ	1	後期	2			
		英語Ⅰ	1	前期	1			
		英語Ⅱ	1	後期	1			
		情報リテラシーⅠ	1	前期	2			
		情報リテラシーⅡ	1	後期	2			
		情報活用入門	2	前期又後期		2		
		日本語Ⅰ	1	前期		2		
		日本語Ⅱ	1	後期		2		
		日本事情Ⅰ	1	前期		2		
	日本事情Ⅱ	1	後期		2			
	キャリア教育科目	キャリアデザインⅠ	3	前期	2			
		キャリアデザインⅡ	3	後期	2			
インターンシップⅠ		3	前期		1			
インターンシップⅡ		3	後期		1			
	特別キャンパス活動Ⅰ	1~3			4			
	特別キャンパス活動Ⅱ	1~3			4			
総合教育センター科目	人文科目	宗教学	1	前期		2		
		音楽の世界	1	後期		2		
		スポーツA	1	前期		2		
		スポーツB	1	後期		2		
		アジアの思想と文化	3	前期		2		
		英米の文学と歴史	3	後期		2		
	社会科目	心理学Ⅰ	1	前期		2		
		心理学Ⅱ	1	後期		2		
		経済学Ⅰ	2	前期		2		
		経済学Ⅱ	2	後期		2		
		日本国憲法	2	前期		2		
		法律学	2	後期		2		
	自然科目	基礎数学	1	前期		2		
		線形代数Ⅰ	1	前期		2		
		線形代数Ⅱ	1	後期		2		
		微分・積分Ⅰ	1	前期		2		
		微分・積分Ⅱ	1	後期		2		
		基礎物理	1	前期		2		
	言語科目	物理学概論	3	後期		2		
		英会話Ⅰ	1	前期		1		
		英会話Ⅱ	1	後期		1		
		英語Ⅲ	2	前期		1		
		英語Ⅳ	2	後期		1		
		資格対策英語Ⅰ	3	前期		1		
		資格対策英語Ⅱ	3	後期		1		
		資格対策日本語	2	前期		1		
	教職科目	ビジネス日本語	2	後期		1		
		教職に関する科目	教職概論	1	後期			2
			教育原理	2	前期			2
			教育心理学	2	前期			2
教育行財政学			3	後期			2	
教育課程論			3	後期			2	
道徳教育の指導法			3	後期			2	
特別活動の指導法			3	前期			2	
教育方法論			2	前期			2	
生徒・進路指導論			2	後期			2	
教育相談			3	後期			2	
教育実習指導			4	前期			1	
教育実習A			4	前期			4	
教育実習B			4	前期			2	
教職実践演習(中・高)	4		後期			2		
総合教育センター科目 (60科目)				18	66	29		

[高城科目の履修に関する条件]

* 基礎教育科目の日本語Ⅰ・Ⅱ、日本事情Ⅰ・Ⅱについては外国人留学生対象科目

[教養教育科目の履修に関する条件]

* 言語科目から2科目以上修得すること。

ただし、資格対策日本語、ビジネス日本語は外国人留学生のみが受講可能とする。

* 自由科目は単位認定できるが卒業要件に算入しない。

工学部 生産工学科

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開講時期	単位数			
				必修	選択	自由	
専門基礎科目	物理Ⅰ	1	後期		2		
	物理Ⅱ	2	前期		2		
	化学実験	1	前期		1		
	化学Ⅰ	1	前期		2		
	化学Ⅱ	1	後期		2		
	基礎力学	1	後期		2		
	CAD入門	1	前期		2		
	電気基礎	1	前期		2		
	情報工学概論	1	前期		2		
	プログラミング演習	1	後期		2		
	材料と機能	2	前期		2		
	生産加工の原理	3	前期		2		
	エネルギー機械	3	後期		2		
	生産管理工学	3	前期		2		
	技術者倫理	4	前期		2		
	安全管理	4	後期		2		
	生産工学実験A(機械)	2~3			1		
	生産工学実験B(電気)	2~3			1		
	生産工学実験C	2~3			1		
	工業概論	1	後期		2		
	職業指導	3	前期		2		
	栽培実習	3	後期		1		
	栽培学	4	前期		2		
	資格Ⅰ	1~4			2		
	資格Ⅱ	1~4			2		
	専門科目	機械工学系科目	工業力学	2	前期		2
			工業材料	1	前期		2
			材料力学Ⅰ	2	前期		2
			材料力学Ⅱ	2	後期		2
			機械力学	3	前期		2
			水力学	2	後期		2
			熱力学	3	前期		2
			機械設計学Ⅰ	2	前期		2
機械設計学Ⅱ			2	後期		2	
機械設計製図Ⅰ			3	前期		2	
機械設計製図Ⅱ			3	後期		2	
金属加工実習Ⅰ			2	前期		1	
金属加工実習Ⅱ			2	後期		1	
流体工学			3	前期		2	
エンジン工学			3	後期		2	
CAD応用			1	後期		2	
3次元CADⅠ			2	前期		2	
3次元CADⅡ			2	後期		2	
CAM		4	前期		2		
木材加工		3	前期		2		
木材加工実習		3	後期		1		
機械工学概論		3	後期		2		
電気情報系科目		電気回路Ⅰ	1	後期		2	
		電気回路Ⅱ	2	前期		2	
		電気回路演習	2	後期		2	
		電磁気学Ⅰ	2	前期		2	
		電磁気学Ⅱ	2	後期		2	
		電子回路	2	前期		2	
		デジタル回路	2	後期		2	
		電子物性工学	2	前期		2	
		電気機器学	3	前期		2	
		電気材料	3	後期		2	
		発変電工学	3	前期		2	
	送配電工学	3	後期		2		
	パワーエレクトロニクス	3	後期		2		
	電力応用	4	前期		2		
	ネットワーク入門	1	後期		2		
計算機基礎	2	後期		2			
計算機アーキテクチャ	3	前期		2			
計算機応用	3	後期		2			
プログラミングⅠ	2	前期		2			
プログラミングⅡ	2	後期		2			
ソフトウェア工学	3	前期		2			
ネットワークセキュリティ	4	前期		2			

専門科目	専門応用科目	電気情報系科目	センシング技術	2	後期		2	
			ロボット制御工学	3	前期		2	
			組み込み技術	3	後期		2	
			情報処理演習	3	前期		2	
		バイオ生産系科目	生物利用技術	1	前期		2	
			微生物利用技術	1	後期		2	
			課題探求(化学)	2	前期		2	
			課題探求(生物)	2	後期		2	
			バイオ工学演習	3	前期		2	
			放射線科学	3	後期		2	
			生命化学Ⅰ	2	前期		2	
			生命化学Ⅱ	2	後期		2	
			遺伝子工学	2	後期		2	
			酵素工学	3	前期		2	
			食品学	2	前期		2	
			食品工学	2	後期		2	
			食品衛生学	3	前期		2	
			食品化学演習	3	後期		2	
			環境科学	1	後期		2	
			水処理工学	2	前期		2	
			食品栄養化学	2	前期		2	
			調理科学	2	後期		2	
			農業資源演習	3	前期		2	
			バイオプロセス工学	3	後期		2	
		物質分析技術	3	後期		2		
		公衆衛生学	4	前期		2		
		教職科目	教職に関する科目	技術科教育法Ⅰ	2	後期		2
	技術科教育法Ⅱ			3	前期		2	
	技術科教育法Ⅲ			4	前期		2	
	技術科教育法Ⅳ			4	後期		2	
	工業科教育法Ⅰ			3	前期		2	
	工業科教育法Ⅱ			3	後期		2	
			ゼミナール	3	後期	2		
		卒業論文	4	通年	5			
		専門科目合計(103科目)			10	179	12	

* 自由科目は単位認定できるが卒業要件に算入しない。

科目一覧表

総合教育センター科目 (全学科共通)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開講時期	単位数		
				必修	選択	自由
高城科目	初年次セミナーⅠ	1	前期	2		
	初年次セミナーⅡ	1	後期	2		
	コミュニケーションⅠ	1	前期	2		
	コミュニケーションⅡ	1	後期	2		
	英語Ⅰ	1	前期	1		
	英語Ⅱ	1	後期	1		
	情報リテラシーⅠ	1	前期	2		
	情報リテラシーⅡ	1	後期	2		
	情報活用入門	2	前期又後期		2	
	日本語Ⅰ	1	前期		2	
日本語Ⅱ	1	後期		2		
日本事情Ⅰ	1	前期		2		
日本事情Ⅱ	1	後期		2		
キャリア教育科目	キャリアデザインⅠ	3	前期	2		
	キャリアデザインⅡ	3	後期	2		
	インターンシップⅠ	3	前期		1	
	インターンシップⅡ	3	後期		1	
	特別キャンパス活動Ⅰ	1~3			4	
	特別キャンパス活動Ⅱ	1~3			4	
教養教育科目	宗教学	1	前期		2	
	音楽の世界	1	後期		2	
	スポーツA	1	前期		2	
	スポーツB	1	後期		2	
	アジアの思想と文化	3	前期		2	
	英米の文学と歴史	3	後期		2	
	心理学Ⅰ	1	前期		2	
	心理学Ⅱ	1	後期		2	
	経済学Ⅰ	2	前期		2	
	経済学Ⅱ	2	後期		2	
	日本国憲法	2	前期		2	
	法律学	2	後期		2	
	基礎数学	1	前期		2	
	線形代数Ⅰ	1	前期		2	
	線形代数Ⅱ	1	後期		2	
微分・積分Ⅰ	1	前期		2		
微分・積分Ⅱ	1	後期		2		
基礎物理	1	前期		2		
物理学概論	3	後期		2		
言語科目	英会話Ⅰ	1	前期		1	
	英会話Ⅱ	1	後期		1	
	英語Ⅲ	2	前期		1	
	英語Ⅳ	2	後期		1	
	資格対策英語Ⅰ	3	前期		1	
	資格対策英語Ⅱ	3	後期		1	
	資格対策日本語	2	前期		1	
	ビジネス日本語	2	後期		1	
教職科目	教職概論	1	後期			2
	教育原理	2	前期			2
	教育心理学	2	前期			2
	教育行財政学	3	後期			2
	教育課程論	3	後期			2
	道徳教育の指導法	3	後期			2
	特別活動の指導法	3	前期			2
	教育方法論	2	前期			2
	生徒・進路指導論	2	後期			2
	教育相談	3	後期			2
	教育実習指導	4	前期			1
	教育実習A	4	前期			4
	教育実習B	4	前期			2
教職実践演習(中・高)	4	後期			2	
総合教育センター科目 (60科目)				18	66	29

[高城科目の履修に関する条件]

* 基礎教育科目の日本語Ⅰ・Ⅱ、日本事情Ⅰ・Ⅱについては外国人留学生対象科目

[教養教育科目の履修に関する条件]

* 言語科目から2科目以上修得すること。

ただし、資格対策日本語、ビジネス日本語は外国人留学生のみが受講可能とする。

* 自由科目は単位認定できるが卒業要件に算入しない。

情報文化学部 情報デザイン学科

科目区分		授業科目の名称	配当年次	開講時期	単位数			
					必修	選択	自由	
情報デザイン総合科目	総合科目	情報デザイン概論	1	前期	2			
		情報デザイン実習Ⅰ	2	前期	1			
		情報デザイン実習Ⅱ	2	後期	1			
		プレゼンテーション論	2	後期		2		
		コラボレーション演習	1~4			4		
		情報と職業	3	後期		2		
		課題探求	3	後期	2			
		卒業研究または卒業制作	4	通年	5			
	資格支援科目	情報資格Ⅰ	1~4			2		
		情報資格Ⅱ	1~4			2		
	専門科目	情報技術総合科目	情報概論	1	前期	2		
			計算機入門	1	後期		2	
			オペレーティングシステム	2	前期		2	
			情報基礎実習	2	後期		1	
			計算機アーキテクチャ	3	前期		2	
			データベース	3	前期		2	
			知能情報技術	4	前期		2	
			プログラミング入門	1	後期	2		
			データ構造とアルゴリズム	2	前期		2	
			オブジェクト指向入門	2	後期		2	
			プログラミング応用	3	前期		2	
			ネットワークプログラミング	3	後期		2	
		インターネットシステム科目	インターネット概論	1	後期	2		
			ネットワーク入門	1	後期		2	
			Webデザイン概論	2	前期		2	
			Webデザイン表現	2	後期		2	
			ネットワーク構成論	2	後期		2	
Webシステム入門			3	前期		2		
Webサイトデザイン			3	後期		2		
ネットワークセキュリティ		4	前期		2			
コミュニケーションデザイン科目		デザインリテラシー	1	前期		2		
		デザイン論	1	後期		2		
		アプリデザイン実習	2	前期		1		
		カラー・コーディネート	2	後期		2		
		ブックデザイン	2	後期		2		
		ユニバーサルデザイン	3	前期		2		
		ユーザインタフェース	4	前期		2		
	CG入門	1	前期	2				
CG理論 (CGクリエイター)	2	後期		2				
商品企画・販売デザイン科目	ファッション&クラフトデザイン実習	1	前期		1			
	パッケージデザイン	1	後期		2			
	生活デザイン	2	前期		2			
	広告・ブランドデザイン	2	前期		2			
	ディスプレイデザイン	3	前期		2			
アート&エンターテインメント科目	インテリア・コーディネート	3	前期		2			
	映像論	1	前期		2			
	映像・写真演習	1	後期		2			
	映像メディア表現Ⅰ	2	後期		2			
	映像メディア表現Ⅱ	3	前期		2			
	デジタル音楽	2	前期		2			
	スケッチ	1	前期		2			
	イラストレーション	1	後期		2			
	キャラクターデザイン実習	2	前期		1			
	アニメーション制作基礎	2	前期		2			
	アニメーション制作応用Ⅰ	2	後期		2			
	アニメーション制作応用Ⅱ	3	前期		2			
	ゲームデザイン	2	後期		2			
	ゲームプログラミングⅠ	3	前期		2			
ゲームプログラミングⅡ	3	後期		2				
メディア文化科目	メディア文化概論	1	前期	2				
	社会と情報	1	後期	2				
	コンテンツ文化論	2	前期		2			

専門科目	専門応用科目	メディア文化科目	ゲーム文化論	2	前期		2		
			コミュニケーション文化論	2	後期		2		
			デザイン・プロデュース論	3	前期		2		
			セルフ・マーケティング	3	後期		2		
			情報社会と倫理	3	前期		2		
			情報社会論	3	後期		2		
		情報ビジネス科目	マーケティング論	1	後期		2		
			経営分析論	2	前期		2		
			流通論	2	後期		2		
			情報ビジネス概論	3	前期		2		
			小売経営論	3	後期		2		
			起業論	3	後期		2		
		教職科目	教職に関する科目	情報科教育法Ⅰ	3	前期			2
				情報科教育法Ⅱ	3	後期			2
	専門科目合計（77科目）						23	125	4

* 自由科目は単位認定できるが卒業要件に算入しない。

科目一覧表

総合教育センター科目 (全学科共通)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開講時期	単位数				
				必修	選択	自由		
高城科目	基礎教育科目	初年次セミナーⅠ	1	前期	2			
		初年次セミナーⅡ	1	後期	2			
		コミュニケーションⅠ	1	前期	2			
		コミュニケーションⅡ	1	後期	2			
		英語Ⅰ	1	前期	1			
		英語Ⅱ	1	後期	1			
		情報リテラシーⅠ	1	前期	2			
		情報リテラシーⅡ	1	後期	2			
		情報活用入門	2	前期又後期		2		
		日本語Ⅰ	1	前期		2		
		日本語Ⅱ	1	後期		2		
		日本事情Ⅰ	1	前期		2		
	日本事情Ⅱ	1	後期		2			
	キャリア教育科目	キャリアデザインⅠ	3	前期	2			
		キャリアデザインⅡ	3	後期	2			
インターンシップⅠ		3	前期		1			
インターンシップⅡ		3	後期		1			
	特別キャンパス活動Ⅰ	1~3			4			
	特別キャンパス活動Ⅱ	1~3			4			
総合教育センター科目	人文科目	宗教学	1	前期		2		
		音楽の世界	1	後期		2		
		スポーツA	1	前期		2		
		スポーツB	1	後期		2		
		アジアの思想と文化	3	前期		2		
		英米の文学と歴史	3	後期		2		
	社会科目	心理学Ⅰ	1	前期		2		
		心理学Ⅱ	1	後期		2		
		経済学Ⅰ	2	前期		2		
		経済学Ⅱ	2	後期		2		
		日本国憲法	2	前期		2		
		法律学	2	後期		2		
	自然科目	基礎数学	1	前期		2		
		線形代数Ⅰ	1	前期		2		
		線形代数Ⅱ	1	後期		2		
		微分・積分Ⅰ	1	前期		2		
		微分・積分Ⅱ	1	後期		2		
		基礎物理	1	前期		2		
	言語科目	物理学概論	3	後期		2		
		英会話Ⅰ	1	前期		1		
		英会話Ⅱ	1	後期		1		
		英語Ⅲ	2	前期		1		
		英語Ⅳ	2	後期		1		
		資格対策英語Ⅰ	3	前期		1		
		資格対策英語Ⅱ	3	後期		1		
		資格対策日本語	2	前期		1		
	教職科目	教職に関する科目	ビジネス日本語	2	後期		1	
			教職概論	1	後期			2
			教育原理	2	前期			2
			教育心理学	2	前期			2
教育行財政学			3	後期			2	
教育課程論			3	後期			2	
道徳教育の指導法			3	後期			2	
特別活動の指導法			3	前期			2	
教育方法論			2	前期			2	
生徒・進路指導論			2	後期			2	
教育相談			3	後期			2	
教育実習指導			4	前期			1	
教育実習A			4	前期			4	
教育実習B			4	前期			2	
教職実践演習(中・高)	4	後期			2			
総合教育センター科目 (60科目)				18	66	29		

[高城科目の履修に関する条件]

* 基礎教育科目の日本語Ⅰ・Ⅱ、日本事情Ⅰ・Ⅱについては外国人留学生対象科目

[教養教育科目の履修に関する条件]

* 言語科目から2科目以上修得すること。

ただし、資格対策日本語、ビジネス日本語は外国人留学生のみが受講可能とする。

* 自由科目は単位認定できるが卒業要件に算入しない。

情報文化学部 現代社会学科

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開講時期	単位数		
				必修	選択	自由
専門科目	社会学基礎Ⅰ	1	前期	2		
	近現代史Ⅰ	1	前期	2		
	社会学基礎Ⅱ	1	後期	2		
	近現代史Ⅱ	1	後期	2		
	社会と情報	1	後期		2	
	社会学理論Ⅰ	2	前期	2		
	社会学理論Ⅱ	2	後期	2		
	コミュニケーション文化論	2	後期		2	
	応用社会学Ⅰ	3	前期		2	
	応用社会学Ⅱ	3	後期		2	
	資格A	1~4			2	
	資格B	1~4			1	
	フィールド系科目	フィールドワーク入門	1	前期		2
		社会調査論Ⅰ	2	前期	2	
		社会統計学	2	前期		2
		社会調査論Ⅱ	2	後期	2	
		社会調査のデータ処理	2	後期		2
		海外研修A	2	通年		4
		海外研修B	2	通年		4
		質的調査法	3	前期		2
		社会調査実習	3	通年		2
	専門外国語科目	英語ベーシック	1	前期		1
		韓国・朝鮮語Ⅰ	1	前期		1
		韓国・朝鮮語会話Ⅰ	1	前期		1
		中国語Ⅰ	1	前期		1
		中国語会話Ⅰ	1	前期		1
		コミュニケーション英語	1	後期		1
		韓国・朝鮮語Ⅱ	1	後期		1
		韓国・朝鮮語会話Ⅱ	1	後期		1
		中国語Ⅱ	1	後期		1
		中国語会話Ⅱ	1	後期		1
		ライティング	2	前期		1
		時事英語	2	後期		1
	ソーシャルビジネス科目	現代ビジネス論	1	前期		2
		マーケティング論	1	後期		2
		経営分析論	2	前期		2
		コンテンツ文化論	2	前期		2
		流通論	2	後期		2
		ファッション論	2	後期		2
		現代経済論	3	前期		2
		情報ビジネス概論	3	前期		2
		小売経営論	3	後期		2
	起業論	3	後期		2	
まちづくり科目	地理学	1	前期		2	
	人文地理学	1	後期		2	
	地域社会論	2	前期		2	
	観光と地域	2	前期		2	
	地域経済論	2	後期		2	
	フードシステム	2	後期		2	
	多様性と共生のまちづくり	3	前期		2	
	ツーリズム論	3	前期		2	
	地域連携論	3	後期		2	
	地域産業論	3	後期		2	
生活と福祉科目	現代社会と福祉	1	前期		2	
	現代社会とくらし	1	後期		2	
	家族とジェンダー	2	前期		2	
	社会福祉総論A	2	前期		2	
	社会保障論	2	後期		2	
	社会福祉総論B	2	後期		2	

専門科目	生活と福祉科目	格差社会論	3	前期		2		
		福祉環境論	3	前期		2		
		介護保険技術論Ⅱ	3	前期		2		
		働くための社会学	3	後期		2		
		生活と福祉の社会学	3	後期		2		
	国際コミュニケーション科目	国際化と日本社会	1	前期		2		
		国際社会論基礎	1	後期		2		
		国際社会学	2	前期		2		
		人権と社会A	2	前期		2		
		グローバル化論	2	後期		2		
		人権と社会B	2	後期		2		
		文化交流史	3	前期		2		
		アジア社会論A	3	前期		2		
		地域国際化論	3	後期		2		
		アジア社会論B	3	後期		2		
	演習科目	社会学基礎ゼミナール	2	通年	4			
		社会学演習Ⅰ	3	通年	4			
		社会学演習Ⅱ	4	通年	4			
		卒業論文	4	通年	4			
	専門科目合計（78科目）					32	123	0

* 自由科目は単位認定できるが卒業要件に算入しない。

工学部 生産工学科

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

地域産業の振興と国際化に対応できる基礎学力と人間力を備えた職業人として、社会に貢献することができる者に学位を授与する。

機械系理論及び実践的な知識と技術を修得した機械系技術者、情報工学分野に加えて制御技術を修得した情報系技術者、電気工学基礎と電気系実務技術を修得した電気系技術者、およびバイオテクノロジーの理論と技術を修得したバイオ技術者で、ものづくり技術により地域社会に貢献することができる力を修得した者に学位を授与する。

カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

本大学の教育理念である「信和、協同、実践」を基本としながら、産業・教育・行政などの分野で社会に貢献できる実践的な技術者の育成と、個性を尊重し、創造性に満ち、高度な知識と技術を身につけ、社会の複雑な変化に対応できる人材を育成できる教育課程プログラムを整備する。

生産工学科は、ものづくり技術により、社会の複雑な変化に対応して課題に挑戦し、社会に貢献できる実践的な技術者を育成するため、次のような教育プログラムを整備する。

- ・ 機械系理論及び実践的な機械設計・製造技術
- ・ 情報分野に加えて様々な制御の知識と技術
- ・ 電気工学基礎知識と電気系実務技術
- ・ バイオテクノロジーの理論と技術

卒業・進級条件

卒業するためには、下表に示す卒業要件に従って124単位以上を修得する必要があります。また、3年生から4年生へ進級するためには、次の条件を満たす必要があります。

履修指針

- ・卒業までに総合教育センター科目35単位以上、専門科目70単位以上、合計124単位以上を目標に履修すること
- ・自分のコースの指定科目は、原則すべて履修すること

進級要件

卒業に必要な単位数の内、合計100単位以上を修得。そのうち専門科目は、50単位以上修得すること。3つの生産工学実験のうち2科目以上修得すること。

この条件を満たさない場合は、3年生に留年となり、4年生の科目は受講できません。また、卒業見込証明書の発行もできません。

卒業要件（卒業するために必要な最低単位数） 【留学生を除く】

科目群			必修	選択			
総合教育センター科目	高城	基礎教育	14単位		15単位	19単位	
		キャリア教育	4単位				
	教養	人文・社会・自然					
		言語		2単位			
専門科目	専門基礎		3単位		60単位		
	専門応用						
	ゼミナール		2単位				
	卒業論文		5単位				

卒業要件（卒業するために必要な最低単位数）

【 留学生 】

科目群		必修	選択			
総合教育センター科目	高城	基礎教育	14単位		19単位	
		日本語Ⅰ、日本語Ⅱ 日本事情Ⅰ、日本事情Ⅱ	8単位			
		キャリア教育	4単位			
	教養	人文・社会・自然				
		言語		2単位		
専門科目	専門基礎		3単位		60単位	
	専門応用					
	ゼミナール		2単位			
	卒業論文		5単位			

資格について

資格の名称
CADトレース技能審査（初級、中級）
CAD利用技術者(1級、2級)
3次元CAD利用技術者(1級、準1級、2級)
機械設計技術者（3級）
電気主任技術者（1種、2種、3種）
電気工事士（1種、2種）
エネルギー管理士
ボイラー技士（2級）
ITパスポート試験
基本情報技術者試験
バイオ技術者認定試験（上級、中級）
危険物取扱者（乙，甲種）
公害防止管理者（大気、水質）
毒劇物取扱者
環境社会検定（ECO検定）
食生活アドバイザー（2級、3級）
修習技術者（機械、金属、電気・電子、情報工学、環境、生物工学）
食品衛生管理者および食品衛生監視員

情報文化学部

情報デザイン学科

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

情報コミュニケーション技術の利活用や「リサーチマインド」の実践により地域社会、地域文化の発展や活性化、問題解決に貢献できる者に学位を授与する。

ソーシャルメディアを利用したビジネスや人間交流において実践的に活躍できる力を修得した者、ゲーム・アニメーションなどのコンテンツ産業及び周辺文化で活躍できる力を修得した者、人と人、人と社会とのつながりを支援するコミュニケーションデザインの力を修得した者、又はそれらの力を複合的に修得した者で、ICT利活用を通じて地域活性化に貢献することができる者に学位を授与する。

カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

社会で必要とされる情報スキルを持ち、現代を生き抜くために必要な情報の収集力・分析力・デザイン力・発信力及びコミュニケーション力・共感力を身につけることで、地域社会と情報文化の発展に寄与する人材及び、コンテンツ産業に寄与できる人材、産業の育成や多様な人々との共生・協働という観点から地域社会を支える人材を育成するための教育プログラムを整備する。

情報技術を身につけ、情報システムの最前線で活躍できるシステムエンジニア、柔軟な発想力で視覚表現を磨き、社会で活躍できるデザイナー、新たな表現手法を追い求め、人と社会に感動を提案できるクリエイター、様々なメディアの特徴や価値を学び、コンテンツやイベントの企画・提案・発信ができるプロデューサーといった、ICT社会で必要とされる人材を育成するための教育プログラムを整備する。

卒業・進級条件

本学科を卒業するためには、下表に示す卒業要件に従って124単位以上を修得する必要があります。また、3年生から4年生へ進級するためには、次の条件を満たす必要があります。

進級要件

卒業に必要な単位の内、合計100単位以上を修得していること。ただし、そのうち総合教育センター科目を10単位以上かつ専門科目を36単位以上修得すること

この条件を満たさない場合は、3年生に留年となり、4年生の科目は受講できません（卒業見込証明書の発行もできません）。

卒業要件（卒業するために必要な最低単位数） 【留学生を除く】

科目群		必修	選択			
総合教育センター科目	高城	基礎教育科目	14単位	—	15単位	19単位
		キャリア教育科目	4単位	—		
	教養	人文・社会・自然科目	—	—		
		言語科目	—	2単位		
専門科目	情報デザイン総合科目				47単位	
	総合科目		11単位			
	資格支援					
	専門応用科目					
	情報技術総合		4単位			
	インターネットシステム		2単位			
	コミュニケーションデザイン		2単位			
	商品企画・販売デザイン					
	アート&エンターテインメント					
メディア文化		4単位				
情報ビジネス						

卒業要件（卒業するために必要な最低単位数） 【 留学生 】

科目群		必修	選択		
総合教育センター科目	高城	基礎教育	14 単位		19 単位
		日本語Ⅰ、日本語Ⅱ 日本事情Ⅰ、日本事情Ⅱ	8 単位		
		キャリア教育	4 単位	7 単位	
	教養	人文・社会・自然	—		
		言語	—	2 単位	
専門科目	情報デザイン総合科目				47 単位
	総合科目		11 単位		
	資格支援				
	専門応用科目				
	情報技術総合		4 単位		
	インターネットシステム		2 単位		
	コミュニケーションデザイン		2 単位		
	商品企画・販売デザイン				
	アート&エンターテインメント				
	メディア文化		4 単位		
情報ビジネス					

情報文化学部

現代社会学科

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

情報コミュニケーション技術の利活用や「リサーチマインド」の実践により地域社会、地域文化の発展や活性化、問題解決に貢献できる者に学位を授与する。

社会学や社会調査に関する知識や手法を修得したことに加え、社会性・事業性・革新性の観点から社会的課題を解決することができるビジネスの手法を修得した者、企業や地域などにおいて悩みや生活課題を抱える人びとへの支援やグローバル化を踏まえ多様な人々との共生・協働を推進することができる力を修得した者、地域が抱える課題やその解決策を提示することができる力を修得した者に学位を授与する。

カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

社会で必要とされる情報スキルを持ち、現代を生き抜くために必要な情報の収集力・分析力・デザイン力・発信力及びコミュニケーション力・共感力を身につけることで、地域社会と情報文化の発展に寄与する人材及び、コンテンツ産業に寄与できる人材、産業の育成や多様な人々との共生・協働という観点から地域社会を支える人材を育成するための教育プログラムを整備する。

社会学や社会調査に関する知識や手法を修得するとともに、社会性・事業性・革新性の観点から社会的課題を解決することができるビジネスの手法、企業や地域などにおいて悩みや生活課題を抱える人びとへの支援やグローバル化を踏まえ多様な人々との共生・協働を推進することができる力、地域が抱える課題やその解決策を提示することができる力を修得するための教育プログラムを整備する。

卒業・卒論着手条件

本学科を卒業するためには、下表に示す卒業要件に従って124単位以上を修得する必要があります。また、4年生の必修科目である「卒業論文」を履修するためには、前年度中に90単位以上の単位を修得していることが条件となります。この条件を満たさない場合、翌年には卒業できません。

卒業要件（卒業するために必要な最低単位数） 【留学生を除く】

科目群		必修	選択必修	選択		
総合教育センター科目	高城	基礎教育科目	14単位	—	15単位	19単位
		キャリア教育科目	4単位	—		
	教養	人文・社会・自然科目	—	—		
		言語科目	—	2単位		
専門科目	専門基礎科目	12単位		34単位		
	フィールド系科目	4単位				
	専門外国語科目		4単位 ※1			
	ソーシャルビジネス科目					
	まちづくり科目					
	生活と福祉科目					
	国際コミュニケーション科目					
	演習科目	16単位				

※1 専門外国語科目から4科目4単位以上を修得すること

卒業要件（卒業するために必要な最低単位数） 【 留学生 】

科目群		必修	選択必修	選択		
総合教育センター科目	高城	基礎教育	14単位		7単位	19単位
		日本語Ⅰ、日本語Ⅱ 日本事情Ⅰ、日本事情Ⅱ	8単位			
		キャリア教育	4単位			
	教養	人文・社会・自然	—			
		言語	—	2単位		
専門科目	専門基礎科目	12単位		38単位		
	フィールド系科目	4単位				
	専門外国語科目					
	ソーシャルビジネス科目					
	まちづくり科目					
	生活と福祉科目					
	国際コミュニケーション科目					
	演習科目	16単位				